

DAM ワークショップ

日 時：2026 年 11 月 12 日（木） 第 1 回目 9:00～12:00, 第 2 回目 15:30～18:30

会 場： フォルテワジマ 4 階 ハンズオン会場 2（ハンズオン会場 2 中ホール）

企 画：日本臨床麻酔学会教育委員会

責任者：山口 重樹（獨協医科大学医学部麻酔科学講座）

コンセプト：日本麻酔科学会気道管理ガイドラインの理解を深め、必要な手技について実践する。

インストラクター（五十音順）：

【第 1 回】

五十嵐 寛, 井本 真帆, 川上 正晃, 楠 真二, 古賀 聡人, 齋藤 朋之, 寺嶋 克幸, 二階 哲朗, 古川 直樹, 望月 利昭,
福井 遼, 堀内 辰男, 山口 重樹

【第 2 回】

生田 義浩, 川越いづみ, 木村 哲朗, 隈元 泰輔, 合谷木 徹, 佐藤 暢夫, 鈴木 智文, 瀬尾 憲司, 束野 友里, 野村 岳志,
松島 久雄, 山口 嘉一, 山口 重樹, Simon Althaus, Jan Grundgeiger, Friedrich K. Pühringer, Dong-Kyu Lee

セミナー概要

安全な麻酔導入のための気道管理ガイドラインが日本麻酔科学会より発表され、全身麻酔導入時の麻酔導入時換気状態の診断と分類、麻酔前気道評価と麻酔導入方法ならびに気道確保器具の選択、全身麻酔導入後の気道管理戦略等が明確に示されています。このガイドラインの中で最も重要な項目は「麻酔導入時の日本麻酔科会気道管理アルゴリズム（JSA-AMA）」であり、換気の危機的状況に応じた対応策が示されている点です。

日本臨床麻酔学会 DAM 教育インストラクターが中心となって企画した DAM（Difficult Airway Management：困難気道管理）ワークショップでは、本邦で使用可能な気道確保のためのさまざまな器具とシミュレーター（人形等）を揃え、DAM に遭遇した際のさまざまな対処法（マスク換気、声門上器具を用いた危機対応、ビデオ喉頭鏡や気管支ファイバーを用いた挿管、輪状甲状間膜穿刺等）を参加者に実践していただき、ガイドラインの主旨や JSA-AMA の理解を深めてもらいたいと考えています。安全な麻酔導入のための気道管理について、麻酔科修練医にとっては知識と経験の整理の機会となるはずです。また、専門医の先生にとってもブラッシュアップの良い機会となると思います。

尚、本ワークショップでは、小児も含めた分離肺換気についても実施する予定です。

協力企業：ICU メディカルジャパン株式会社, アイ・エム・アイ株式会社, アコマ医科工業株式会社, アンブ株式会社,
エム・シー・メディカル株式会社, オリnpas株式会社, 泉工医科工業株式会社, 株式会社アムコ,
株式会社インターメドジャパン, 株式会社東機貿, 株式会社 MEDIK, 東レ・メディカル株式会社,
日本光電工業株式会社, 日本メドトロニック株式会社, 日本ライトサービス株式会社,
レールダル メディカル ジャパン株式会社,

申 込：事前登録制

定 員：各回 30 名

受講料：3,000 円